

# 水産多面的機能発揮対策事業の取組事例

# 1 国民の生命・財産の保全にかかる取組事例(国境警備の取組)

## ①岩美地区海洋環境保全対策活動組織(鳥取県岩美町)

### 【活動組織の概要】

- ・主な構成員:鳥取県漁協、漁協女性部、漁業者(国境監視活動は漁業者のみ)
- ・交付金 約3百万円(H26)

### 地域の現状・課題

- ・当地区はイカ釣り、底曳網漁業等の基地であり、操業エリアは我が国領海からEEZ、暫定水域に及ぶ。
- ・過去にも不審船等(違法操業等)が漁業者によって確認されていたが、情報が集約されてこなかった。
- ・このため、漁協を中心とした連絡体制の確認と各漁業者による情報収集及び情報の一元化が求められた。

### 活動の内容

- ・本事業で毎年不審船等の発見・通報訓練を実施。
- ・1回当たり約45隻が活動エリアに散開し、船間及び漁協間での通信体制を確認(無線と携帯電話)。
- ・これをもとに、操業中に確認した不審船や漂流漁具等の情報を漁協に集約。



### 活動の効果

- ・平成25年に1隻、平成26年に2隻の不審船をイカ釣り操業中(夜間)に視認、漁協に報告。
- ・2年間に30件の韓国製漁具等(刺網、バイかご、カニかご、ボンデン、魚箱)の漂流や日本の漁船・漁具への被害を漁協に報告。
- ・この活動により、漁協へ情報が一元化され、漁業者による警備や監視に対する意識が向上。

# 1 国民の生命・財産の保全にかかる取組事例(国境警備の取組)

## ②知夫村海守隊(島根県知夫村)

### 【活動組織の概要】

- ・主な構成員:JFしまね、漁業者、渡船・観光業者、村役場
- ・交付金 約5百万円(H26)

### 地域の現状・課題

- ・当地区は一本釣りなどの小型漁船漁業が主流であり、操業海域は島嶼部周縁の領海内が中心。
- ・過去18年間で4回の不審船を確認しており、季節風が強まる冬季に不審船等が漂着したこともあり、村民や操業の安全確保が課題。

### 活動の内容

- ・不審船や漂流物の早期発見を目的とした監視活動を実施。
- ・秋から冬にかけて季節風の吹く時期に、隠岐諸島北側を中心に監視活動を実施。
- ・本事業において各年延べ72隻が監視活動を実施。



### 活動の効果

- ・監視活動を行ったが、平成25・26年度は不審船等の確認情報は報告されなかった。
- ・漁業者と漁業者以外(渡船業、観光業)との間で安全・安心な海づくりの意識が醸成されるとともに、漁業者と漁業者以外の交流が活発化。

# 1 国民の生命・財産の保全にかかる取組事例(海難救助活動の取組)

## ③新深浦町漁協地域多面的機能発揮活動組織(青森県深浦町)

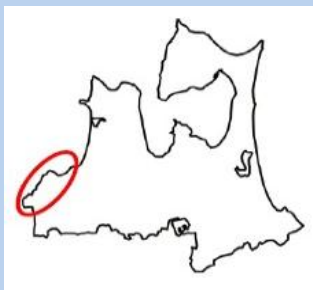
### 【活動組織の概要】

- ・主な構成員:新深浦町漁協、漁協女性部、漁業者
- ・交付金 約2百万円(H26)

- ・平成23年1件(海難事故:故障漁船の捜索)
- ・平成24年1件(海難事故:漂流ゴムボート救助)
- ・平成26年1件(人身事故:落雷を受けた海中転落者を救助)

### 地域の現状・課題

- ・冬場の荒れる日本海での操業が多い。
- ・漁業者の高齢化が進んでおり、過去には漁業者が船上作業中に倒れる事例が発生。
- ・そのため、海難救助訓練を通して、漁業者の救命スキルアップや海難事故防止への意識向上を図る必要。



### 活動の内容

- ・海難救助訓練を年1回行い、以下の活動を実施。
- ・船舶による漂流者救出訓練、事故船の曳航・消火訓練、人工呼吸・AED使用講習、救命胴衣装着訓練。



### 活動の効果

- ・参加者の海難事故への認識が高まる。
- ・救助プログラムを策定し、スムーズな連絡体制や救助体制を構築。
- ・地域一体となった救難活動。
- ・平成26年度海難救助訓練参加者150人(これまで実績のなかった地元の中学校(101名)も訓練に参加)。



## 2 地球環境保全にかかる取組事例(藻場の保全の取組)

### ①指宿地区水産振興会(鹿児島県指宿市)

#### 【活動組織の概要】

- ・主な構成員:指宿漁協、漁業者、鹿児島水産高校
- ・交付金 約4百万円(H26)

#### 地域の現状・課題

- ・昔は魚介類や海藻類が多かった。
- ・現在では、ガンガゼウニが多くなり、海藻が減少(磯焼けの発生)。

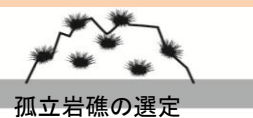


現在ではウニが  
10個体/m<sup>2</sup>の高密度  
で分布



#### 活動の内容

- ・水産高校と協力してウニの除去を行い、母藻の設置を実施。
- ・当組織では砂地に点在する岩礁や転石での徹底的なウニ除去を実施。



孤立岩礁の選定

集中してウニ除去



藻場の再生

イメージ

#### 活動の効果

- ・磯焼けを起こしている転石帯において長期的(H23~26)にウニの除去を行った結果、磯焼け状況から、  
**1. 1haの藻場が回復。**
- ・イカの産卵を確認。

#### 【今後の方向】

- ・魚による食害が発生しており、植食性魚類対策が必要。
- ・活動の成果を広く発信し、地元住民を巻き込んだ活動を実施。



## 2 地球環境保全にかかる取組事例(干潟等の保全の取組)

### ②市川市行徳漁協第1・第2活動グループ(千葉県市川市)

#### 【活動組織の概要】

- ・主な構成員:市川市行徳漁協、漁業者
- ・交付金 約18百万円(H26)

#### 地域の現状・課題

- ・本地域には、「三番瀬」と呼ばれる東京湾奥部最大の干潟が存在。
- ・青潮やノリ支柱柵の減少、食害生物の影響により、アサリが激減。



アサリ



ホンビノスガイ

#### 活動の内容

- ・客土、ツメタガイの除去、保護区の設定、稚貝の沈着促進・密度管理、アサリの移植。活動面積は122ha。

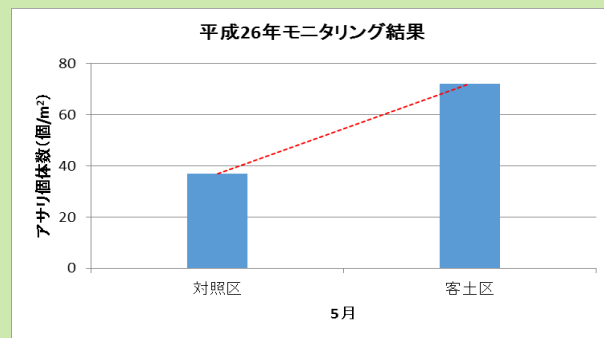


#### 活動の効果

- ・客土の効果により稚貝が着底、生息し、アサリ等の個体数が倍増。

#### 【今後の方向】

- ・これまでの成果を踏まえ、客土の効果を更に高めるため、静穏な場所など実施場所を選定し、波浪対策を講じる。



## 2 (内水面関係)地球環境保全にかかる取組事例(ウナギ資源の保護活動の取組)

### ③活動組織名 高尾野川をきれいにする会 (鹿児島県出水市)

#### 【活動組織の概要】

- ・主な構成員 高尾野内水面漁業協同組合、高尾野校区自治会連合会ほか
- ・交付金 約2百万円(H26)

#### 地域の現状・課題

- ・高尾野川は、河川延長が約20kmの2級河川。
- ・ダム造成や河川改修の影響により、河川環境が大きく変化し、ニホンウナギやトビハゼ等の希少種を含む魚類の保全・再生が必要。

出水市



#### 活動の内容

- ・高尾野川を代表する魚介類は、ウナギ、アユ、コイ、モクズガニなど。
- ・平成25年度に、近年、特に減少しているウナギの棲み処となる「石倉」を、中流と下流の2箇所各4基設置し、以後、モニタリングを実施。



川の中で石を詰める

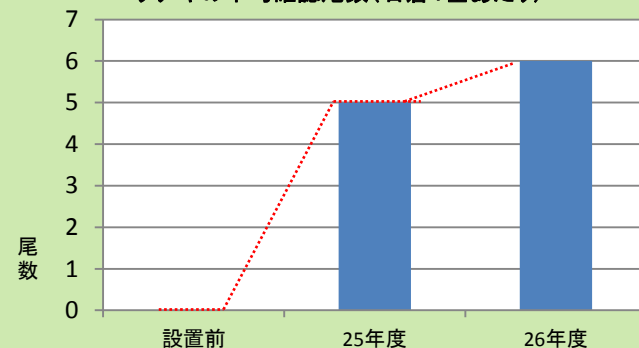


調査に子供たちも参加

#### 活動の効果

- ・石倉設置により、25年度にはウナギが確認され、26年度は更に確認尾数が増加。
- ・ウナギ以外のハゼ類、エビ類、モクズガニや希少種のスナヤツメも確認され、生息環境が改善。

ウナギの平均確認尾数(石倉1基あたり)



## 2 (内水面関係)地球環境保全にかかる取組事例(内水面の生態系の維持・保全)

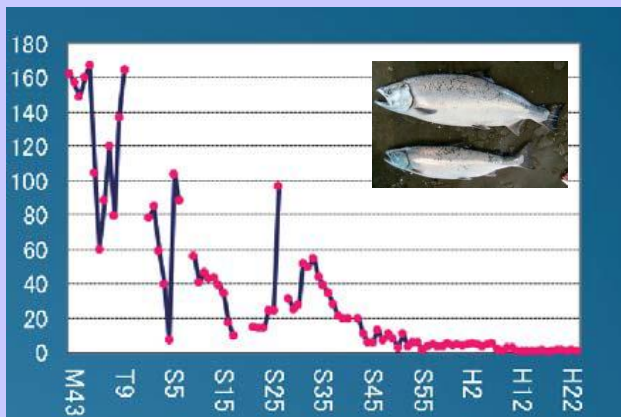
### ④活動組織名 富山市水辺をきれいにする会 (富山県富山市)

#### 【活動組織の概要】

- ・主な構成員 とやま市漁協(海面)、富山漁協(内水面)、富山市役所ほか
- ・交付金 約4百万円(H26)

#### 地域の現状・課題

- ・飛騨山脈から富山湾へと流れ込む神通川は、サクラマス、アユといった豊かな川の幸に恵まれ、「ますの寿し」も神通川のサクラマスから作られていた。
- ・内水面生態系の保全のために、河川環境の保全・再生が必要。



サクラマスの漁獲量

#### 活動の内容

- ・神通川水系黒川において、間伐材や土嚢等を用いた魚道を設置。



手作りの魚道を設置

- ・地元の小学生を対象としたサクラマス自然産卵観察会、サケ増殖場の見学会等を実施。



#### 活動の効果

- ・魚道設置の数日後、設置した魚道を遡上するサクラマスを確認。



遡上するサクラマス

- ・学習会の実施により、神通川の生態系及び環境保全に対する理解が促進



### 3 漁村文化の継承にかかる取組事例(漁村文化・食文化等の伝承機会の提供の取組)

#### ① 活動組織名 有家の浜を守る会(長崎県南島原市)

##### 【活動組織の概要】

- ・主な構成員: 有家町漁協、漁業者
- ・交付金 約1百万円(H26)

##### 地域の現状・課題

- ・南島原には「イギリス」という名前の海藻料理が存在。
- ・イギリスは島原の乱(1637-38)によって壊滅した島原半島に幕府の命で移住した小豆島の人々から伝承された食物。
- ・漁業やイギリス伝承の後継者が不足(活動組織の構成員は55名)。



イギリス

##### 活動の内容

- ・イギリスのルーツの調査のため、小豆島土庄町の四海漁協女性部とコンタクトを取り、イギリスの勉強会を開催し、情報交換を実施。
- ・上記内容を冊子にとりまとめ、イギリスの食文化を地元の人たちや民泊に来た学生たちに伝承。



##### 活動の効果

- ・平成25年度からのべ300人にイギリスを伝承。

##### 【今後の方向】

- ・藻場の重要性を教育するとともに、イギリスをアレンジして、若者が食べやすく、一層親しみやすいものとする。



製作した冊子

### 3 (内水面関係) 漁村文化の継承にかかる取組事例(河川清掃及び教育・学習)

#### ② 活動組織名 みんなの川・揖保川会 (兵庫県たつの市、穴粟市、太子町、姫路市)

##### 【活動組織の概要】

- ・主な構成員 揖保川漁協、(財)穴粟森林王国教会、しそく観光協会、(株)波賀メイプル公社、岩浦土地改良区、たつの観光協会ほか
- ・交付金 約5百万円(H26)

##### 地域の現状・課題

- ・中国山脈から播磨灘に注ぐ揖保川は、全長70km、3市1町にまたがる。
- ・83種類の魚類が生息し、アユ釣りも盛ん。
- ・濁水の長期化、流量の減少、砂の堆積といった問題が発生。川で遊ぶ子供が減少し、関心が薄まっている。



##### 活動の内容

- ・地域住民や小学生も参加した河川清掃活動を実施。
- ・小学生児童と保護者、家族を対象とした環境教育活動、アユの採卵体験、魚とのふれあい体験活動を実施。



- ・ウナギ等の餌場や住処になる石倉を河川下流域に設置。定期的なモニタリング活動を実施。

##### 活動の効果

- ・教育・学習活動を22回実施し、のべ2,719名が参加。
- ・揖保川の現状、環境・生態系保全の重要性、漁業が果たす役割についての理解が促進。



- ・石倉には、ウナギのほか、餌となるエビ類が多数確認。また、兵庫県のレッドデータブックに掲載されているカワアナゴも確認。